

凧部日記 05 号

「白根」で3年間の高校生活を過ごすなら (2017/06/02)

昨日、「初日」を迎えた 2017 年の白根大凧合戦。その市中パレードに我ら5名の凧部員も参加してきました。朝から今にも泣き出しそうでいて、すんでのところで、ギリギリもちこたえていた曇り空でしたが、開始時刻が近付くにつれて、雨を告げていた天気予報が現実のものとなり、やはり雨粒が落ちてきてしまいました。慌てて、凧にビニールをかけて臨むこととなりましたが、幸い、本降りには至らず、それもパレードが始まる時刻 12 時 30 分には完全に止んでくれたので、一安心。何とか事なきを得ました。

この日、私たちがパレードに用意した2枚の凧は、この春の大会で「16強」入りを果たす快進撃を見せた「野球部」と、同好会から部へと昇格し、好成績を収めている「相撲部」の部名が入った2枚。それらを目にした沿道のお客さんたちから、「野球部、頑張ったよねえ」とか、「えっ、白高に『相撲部』なんてあるんだ!」「あるんだよ。今、頑張ってるねかてえ」や「白高、頑張れえ!」などといった声があがるのを耳にしたり、或いは、黄色いキャップ帽を被った年少の男の子が「あっ、『すもうぶ』だって」と難しい漢字を読んでくれたことにビックリしたりしながら歩くことで、改めて、白根の皆さんが「白高」に関心を寄せ、応援してくださっていることを感じました。

5人の凧部員。入部した際は「なんとなく」だったかもしれませんが、凧作り・凧揚げ練習では、地元の「凧名人」生野さん、山際さんの丁寧で暖かみのある指導を受けて、この日を迎え、パレードで、沿道に集まった方々から笑顔で大きな拍手を送られるなか、いつになく、胸を張って堂々と歩く5人の姿は、みんな揃って、町を挙げての「祭礼」に加わる喜びを表現しているようでした。

彼らはみんなこの「白根」という土地に見守られ、育てられているのです。この日の華やかなパレードに加わりながら、「白根」で3年間の高校生活を過ごすなら、「凧部」という選択もまんざら悪いものではない、改めて、そう感じていたに違いありません。

私たち白根高校凧部が挑む大凧合戦は土曜・日曜の二日間。ここまでの感謝の気持ちを込めて、私たちなりに「勇壮」な姿をお見せできるように頑張りたいと思います。

下村 伸(凧部顧問)

